

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	まんてん		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日 ～ 2025年 3月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日 ～ 2025年 3月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・季節に合わせたイベントの開催。	・毎日、違う活動内容の提供で飽きず楽しんでもらえるよう取り組んでいます。また季節に合ったイベントも定期的開催しています。	・子ども達が夢中になって取り組めたり、多くの達成感を感じてもらうために更なるイベントの充実を図っていきます。
2	・必要に応じて、または定期的に保護者と面談を行い、お子さんのことについて共通理解できていることです。	・モニタリング時に限らず、その都度保護者の希望に沿って面談の機会を設けていることです。	・面談については、引き続き希望のある方と取り組むことは継続し、面談をすることが難しい方は連絡帳等を通じて連携することを継続していきます。

3	・職員同士の連携がしっかりしていると思います。	・連絡ツールを活用して、利用児童の共有をしています。	・利用児童の支援を振り返り、次回利用時の活動の幅を広げていこうと思います。 ・職員間で事務業務の進捗を伝え合い、作業の効率化を図りたいと思います。
---	-------------------------	----------------------------	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所内での子どもの様子は共有しているが、家庭での様子や取り組みについて十分把握しきれていないことがあります。	・通所している際に、実際の子どもの姿を見ながら保護者と話すことはできて、そこから家庭での様子まで把握しきれていないことがあります。職員自身が、事業所内での取り組みだけでなく、生活全般において必要なことを保護者と一緒に考えられるようになっていく必要があります。	・保護者や周りの大人が子どものことを理解し、必要な関わりを考えられることを目指すために、子どもの様子を保護者としてしっかり共有していきたいと思います。
2	・活動内容のバリエーション。	・様々な活動や取り組みをしているが、もっと個々に合った良い療育や支援が可能ではないか。	・個々の意見に寄り添った内容を取り入れようと思います。
3			